

第 12 回学術集会 鳥取大会プログラム

第 1 日目 10 月 22 日 (土)

受付開始 (フリースペース)

11 : 00 ~ 12 : 00

開会挨拶 第 12 回学術集会鳥取大会大会長 金藤大三

12 : 00 ~ 12 : 10

ランチョンセミナー

12 : 10 ~ 13 : 10

座長 野崎園子 (関西労災病院 神経内科)

「とろみを理解する」: 食品科学的, 臨床的研究より

上羽 瑠美 (東京大学耳鼻咽喉科・聴覚音声外科)

「神経内科嚥下疾患における嚥下ニューロリハビリテーション」

和座雅浩 (各務原リハビリテーション病院 神経内科)

— 休憩 (13 : 10 ~ 13 : 30) —

特別講演 I

13 : 30 ~ 15 : 00

座長 山脇正永 (京都府立医科大学)

「全脳ネットワークにおける小脳の役割」

湯浅龍彦 (鎌ヶ谷総合病院千葉神経難病センター 神経内科)

— 休憩 (15 : 00 ~ 15 : 10) —

特別講演 II

15 : 10 ~ 16 : 10

座長 藤本保志 (名古屋大学医学部附属病院)

「誤嚥防止術の適応と実際, 術後の経過」

河本 勝之 (鳥取大学医学部 感覚運動医学講座 耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野)

— 休憩 (16 : 10 ~ 16 : 20) —

一般演題 I

16 : 20 ~ 17 : 00

座長 和座雅浩 (各務原リハビリテーション病院)

1. 嚥下音・喉頭変位・呼吸圧データに基づく嚥下障害判定の検討
井上勝文(大阪府立大学大学院工学研究科)
2. タイトル延髄外側梗塞における Valsalva 法と鼻つまみの有用性
巨島文子 (京都第一赤十字病院 リハビリテーション科)
3. 嚥下中の輪状咽頭筋をめぐる疑問
小西正訓 (中村記念病院 耳鼻咽喉科)
4. 嚥下圧と VF の定量化は筋萎縮性側索硬化症の嚥下評価に有用か?
前村 弥生 (鳥取大学医学部医学科・学生)

— 移動 —

懇親会 1 日目

17 : 30 ~ 19 : 30

会場: グリーンハウス

第 2 日目 10 月 23 日 (日)

受付開始 (第1会議室入口前)

8:30 ~ 8:55

特別講演Ⅲ

9:00 ~ 10:00

座長 下田光太郎 (国立病院機構鳥取医療センター)

「Parkinson 症候群の臨床」

中島健二

(国立病院機構松江医療センター)

鳥取大学名誉教授 (前鳥取大学医学部脳神経医科学講座脳神経内科分野教授)

—休憩 (10:00 ~ 10:10) —

セミナー

10:10 ~ 11:00

座長 金籐大三 (国立病院機構鳥取医療センター)

「神経筋疾患における嚥下造影検査の定量的評価」

山本敏之 (国立精神・神経医療研究センター病院 神経内科)

—休憩 (11:00 ~ 11:10) —

一般演題Ⅱ

11:10 ~ 11:40

座長 巨島文子 (京都第一赤十字病院)

1. 高度の嚥下障害を合併した皮膚筋炎 3 例の治療経験
梅本文二 (福岡大学病院 歯科口腔外科)
2. 筋萎縮性側索硬化症患者に対する間欠的経口経管栄養法の有用性
馬木良文 (医療法人あおぞら内科)
3. 球脊髄性筋萎縮症患者に嚥下訓練を行い経口摂取可能となった症例
有吉希充恵 (国立病院機構南岡山医療センター リハビリテーション科)

一般演題Ⅲ

11:40 ~ 12:00

座長 二藤隆春 (東京大学)

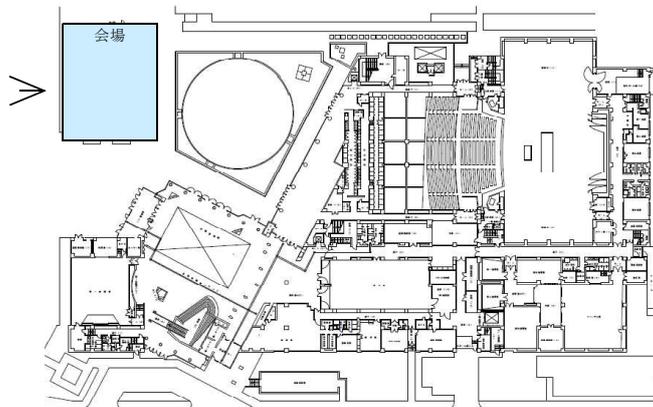
4. 食道胃管挿入(TEG)と誤嚥防止術を同一術野で行った多系統萎縮症例
木原 智史 (鳥取大学医学部感覚運動医学講座 耳鼻咽喉・頭頸部外科学)
 5. Parkinson 病患者における嚥下圧測定の有効性
平 憲吉郎 (鳥取大学医学部感覚運動医学講座 耳鼻咽喉・頭頸部外科学)
- 第13回学術集会東京大会 大会長挨拶 二藤隆春 12:00 —

閉会挨拶 大会長 金籐大三

懇親会 1 日目 17:30 ~ 19:30

会場: グリーンハウス

懇親会
レストラン
「グリーンハウス」



I. 摂食・嚥下障害といわれたら・・・

～母を通して振り返る摂食・嚥下障害～

橋本由美子（国立病院機構鳥取医療センター 摂食・嚥下障害看護認定看護師）